

鳴門教育大学研究紀要

第 38 卷

鳴 門 教 育 大 学

2023

目 次 (Contents)

教育科学編

EDUCATION SCIENCES

- ・教員の「性の多様性」に関する意識調査……………葛西真記子, 黒岩知恵 (1)
The Teachers' Attitude Survey on Sexual and Gender Minorities
KASAI Makiko and KUROIWA Tomoe
- ・「いじめ」問題とその解決……………山崎勝之 (15)
Bullying: Problems and solutions
YAMASAKI Katsuyuki
- ・コンピテンシーベース教育の意味と教科内容が果たす役割……………胸組虎胤 (34)
Meaning of Competency-Based Education and Roles of Curriculum Contents
MUNEGUMI Toratane
- ・地域課題解決学習による児童の挑戦する意欲と社会的有効性意識の向上
— 総合的な学習の時間のマネジメントと授業実践を通して — ……大林正史, 前田彩子 (46)
Improving Children's Willingness to Take on Challenges and Awareness of
Social Effectiveness through solving the problems of the community
— Through the Period of Integrated Study management and classroom practice —
OBAYASHI Masafumi and MAEDA Ayako
- ・自己調整学習の理論を基盤とした学習者本位の授業の開発と ICT を活用した学習履歴の分析の試み
……………皆川直凡, 竹口幸志 (63)
Development of Teaching Program Giving Priority to Learner, Based on Self-regulated learning theory,
and Analysis of Students' Learning Records, using ICT
MINAGAWA Naohiro and TAKEGUCHI Kohji

人文・社会科学編

HUMANS AND SOCIAL SCIENCES

- ・子どもの心は怪獣・ウルトラマンとどう出会うのか……………今田雄三 (75)
How are children's minds affected by monsters and Ultraman?
IMADA Yuzo
- ・中学校社会科歴史教科書に用いられるシヨウトスル
— 過去のできごと文におけるシヨウトスルの分析 — ……宮部真由美 (92)
Analysis of *Shiyootosuru* Use in Describing Past Events in Junior High School History Textbooks
MIYABE Mayumi
- ・Cluverius の *Introductionis in universam geographiam, tam veterem quam novam*
— 第3巻第9章～第6巻第10章の翻訳 — ……立岡裕士 (103)
Cluverius's Introductionis in universam geographiam, tam veterem quam novam:
an translation of volume 3 ch.9 to volume 6 ch.10
TATUOKA Yuuzi
- ・幼児のデジタルメディア利用の影響に対する保護者の意識に関する調査……………湯地宏樹 (177)
A study on parents' awareness of the effects of digital media use on young children
YUJI Hiroki

芸術編

ARTS

-
- ・歌唱共通教材／文部省唱歌の「本伴奏」に関する覚書……………山田啓明 (188)
Memorandum on “Hon-Bansō(main accompaniment)” for Common teaching materials
for singing or Monbushō shōka (Ministry of Education songs) YAMADA Hiroaki
- ・音楽科の教材研究における指導内容導出の視点に関する一考察
—《威風堂々第1番》を教材として—……………鉄口真理子, 大和 賛 (199)
Discussion on Perspectives of Deriving Teaching Contents
from the Study of Teaching Materials for Music
— A case study of “Pomp and Circumstance March No.1” as teaching material —
TETSUGUCHI Mariko and YAMATO Akira
- ・マックス・ラファエルの洞窟壁画論
— 構造主義的解釈の淵源を求めて — ……………小川 勝 (210)
Max Raphael on Parietal Art: In search of Structuralists’ Interpretation Origin OGAWA Masaru

生活・健康編

HEALTH AND LIVING SCIENCES

-
- ・学校教育における住教育
— 教科等横断的な視点から— ……………速水多佳子 (217)
Housing Education in School Education: An Investigation from a Cross-Curricular Perspective
HAYAMI Takako

執筆者紹介(掲載順)

■教育科学編

- | | |
|--------|---------------------------|
| 葛西 真記子 | 鳴門教育大学心理臨床コース (臨床心理学) |
| 山崎 勝之 | 鳴門教育大学心理臨床コース (心理・教育科学) |
| 胸組 虎胤 | 鳴門教育大学教育探求総合コース |
| 大林 正史 | 鳴門教育大学学校づくりマネジメントコース |
| 皆川 直凡 | 鳴門教育大学学習指導力・ICT教育実践力開発コース |

■人文・社会科学編

- | | |
|--------|-----------------------|
| 今田 雄三 | 鳴門教育大学心理臨床コース (臨床心理学) |
| 宮部 真由美 | 鳴門教育大学グローバル教育コース |
| 立岡 裕士 | 鳴門教育大学社会科教育コース |
| 湯地 宏樹 | 鳴門教育大学幼児教育コース |

■芸術編

- | | |
|--------|----------------|
| 山田 啓明 | 鳴門教育大学音楽科教育コース |
| 鉄口 真理子 | 鳴門教育大学音楽科教育コース |
| 小川 勝 | 鳴門教育大学美術科教育コース |

■生活・健康編

- | | |
|--------|----------------|
| 速水 多佳子 | 鳴門教育大学家庭科教育コース |
|--------|----------------|

鳴門教育大学研究紀要編集・発行要項

	平成16年	5月27日
	学 長	裁 定
改正	平成17年	5月13日
	平成18年	6月 1日
	平成18年	10月17日
	平成23年	8月 8日
	平成27年	3月19日
	平成29年	4月26日
	令和 3年	5月31日

(趣旨)

第1 この要項は、鳴門教育大学(以下「本学」という。)が研究の成果を発表するために発行する「鳴門教育大学研究紀要」(以下「紀要」という。)の編集及び発行について必要な事項を定める。

(編集・発行)

第2 紀要の編集及び発行は、国立大学法人鳴門教育大学学術研究推進委員会(以下「委員会」という。)が行う。

(発行形態・資格)

第3 紀要は、教育科学編、人文・社会科学編、自然科学編、芸術編及び生活・健康編とする。

第4 紀要は、CD-ROM形式とし、毎年度1回発行する。

第5 紀要に執筆及び投稿できる者は、次のとおりとする。

- (1) 本学の専任教員、研究員、外国人客員研究員
- (2) 本学の専任教員を論文の筆頭者とした場合の共同研究者
- (3) その他委員会が特に認めた者

(投稿点数・留意事項)

第6 第一著者として投稿できる論文点数は、原則として1執筆者1論文とする。共著論文の場合は、論文筆頭者は1論文とみなす。

第7 投稿する論文(実践論文を含む。)(以下「論文」という。)は、論文として未発表のものに限る。

第8 投稿する論文の提出期限は、毎年9月末日とし、それ以後に提出されたものは受理しない。

2 論文は、原則として横書きとする。

3 論文は、邦文の場合は2,400字を、欧文の場合は4,800字を1ページとする。

第9 第8の3の規定にかかわらず、別刷りを希望する場合は、1論文当たり図表・写真等及び論文要旨を含み15ページを制限ページ数とする。ただし、論文要旨は、1ページを原則とする。

(論文の査読)

第10 委員会は、投稿された論文を、選定した査読者に査読させるものとする。

2 委員会は、3名の査読者を選定し、うち1名以上は学外者とする。

(著作権等)

第11 投稿する論文の著作権は、鳴門教育大学機関リポジトリ要項(平成26年学長裁定)に基づき、投稿者に帰属するとともに、当該論文を公開(Webによる公開を含む。)することについて著者の許諾があったものとして取り扱う。

2 投稿者は本学に対し、当該論文の外部機関を含めたWebや印刷等での公開・転載・複製等を承諾するものとする。

3 論文中における文章・図・表・写真等の引用は、適切に行う。著作権に抵触する場合は、事前に著作者の許諾を得る。

第12 共著論文の論文の筆頭者は、当該論文全ての共著者に、共著者である旨及び公開する旨の同意を文書により得なければならない。

2 前項の文書を得られない場合、本学は、共著論文の投稿を受理しない。

(実施細目)

第13 この要項に定めるもののほか、紀要の編集及び発行の実施に関し必要な細目は、委員会が別に

定める。

附 則
この要項は、平成16年 5月27日から施行する。

附 則
この要項は、平成17年 5月13日から施行する。

附 則
この要項は、平成18年 6月 1日から施行する。

附 則
この要項は、平成18年10月17日から施行する。

附 則
この要項は、平成23年 8月 8日から施行する。

附 則
この要項は、平成27年 3月19日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則
この要項は、平成29年 4月26日から施行する。

附 則
この要項は、令和 3年 5月31日から施行する。